

Q：治験に参加すると、  
どのようなメリット・デメリットがあるのでしょうか？

A：個人の価値観や病状などにより、何をメリット・デメリットと感じるかは異なりますが、一般的には以下のような可能性が考えられます。

- ◆新しい治療方法の開発に貢献できる
- ◆通院、検査や診察が普段より多くなる
- ◆日常生活における制限がある場合がある

- もう少し細かく見てみましょう
- ◆ ご自分と同じような病気や怪我で苦しむ人々の治療方法の開発に貢献することができます。みなさんが普段使っているくすりも、多くの人々の協力があって誕生したものです。また、治験で使用する「くすりの候補」はまだ治療として認められていませんが、他に治療方法がない場合などには、選択肢の一つになる可能性があります。
- ◆ 治験中は副作用や効果の確認のために、治験実施計画書で決められた検査・診察を受けることになるので、通院、検査や診察が普段より多くなります。病気を詳しく調べることをメリットと感じる方もいますが、負担が多くなり、デメリットと感じる方もいます。負担を少なくするために、医療費の一部や一定額の交通費の補助が準備されている場合があります。医療費については「治験に参加している際の費用はどのようになりますか？」もご確認ください。